

卓球の歴史について

2018年9月23日

竹原 孝（元卓球選手）

卓球は発生の地 英国に加え、オランダ、スペインとヨーロッパが強く、カット型の選手が多かったのです。1950年頃、藤井則和（関学中退）を中心にカットを打ちぬき、ヨーロッパを撃破し、日本が20年間世界No.1をほこった時代がありました。中国の周恩来首相（京都帝国大学卒）が日本政府に、金のない中国の人民に卓球をやらせたいと要請し、政府は、萩村選手（日大卒）に世界チャンピオンとして中国に渡り、卓球を教えるよう依頼し、同選手は中国に数ヶ月行きました。

その結果教え子の中国が強くなり、日本より天下を奪う急成長となり、又、タモリが卓球はネクラなスポーツと言ったことなどもあり、日本卓球は益々どん底となりました。

今は男子張本（15歳）、女子伊藤、平野、早田（各18歳）と中国と対等に戦える力をつけています。

東京オリンピックでは金をねらえる（アマイ）？現状と思っています。